



選挙から一年が経過し、特に三つの事について取組んできました。

1. 子どもたちへの支援

- ① 給食無償化へ(小・中学校、保育園・こども園)
- ② 不登校・ひきこもり対策(教育の多様性)
- ③ 紙おむつの一歳までの無償支給

安心して子どもを産み育てられる環境を!!



2. 地域医療問題

- ① 救急搬送先が見つからない「630問題」。救急隊の負担増
- ② 富士中央病院(建替え構想策定中)との連携強化
- ③ 医師確保と市立病院の経営方針の明確化

市民の皆さんが安心してかけられる総合医療の病院を!!



3. 土地利用促進へ

- ① 盛土問題、今後の方針
- ② 次期富士宮市総合計画へ向け、規制緩和を

住む場所、働く場所、遊ぶ場所など将来の街づくりを!!



望月芳将

プロフィール

S52.8.12生まれ

大宮小、二中、富士宮北高卒
平成12年帝京大学理工学部卒業
富士宮にて就職し、青年活動や
NPO活動に積極的に参加

趣味 ・料理(ほぼ毎日弁当男子)
・温泉浴

H19 富士宮市議会議員29歳初当選

H27 議会運営委員長 議会改革に取り組む

H28 議会基本条例調査特別委員長
市議会初の政策条例制定

H30 各委員会委員長を歴任し
平成30年第60代富士宮市議会副議長就任

R3 富士宮市議会議員補欠選挙 トップ当選

R5 富士宮市議会議員5期目 トップ当選

現在 男女の双子の父(育児奮闘中!)

富士市議会の地域医療研究会において、外部リサーチの報告によると(2022年)約5,600人が富士医療圏の患者が医療圏以外の病院へ入院している。医療流出口が多い医療圏である。

流出患者が多いトップ3

- 1 消化器
- 2 整形外科
- 3 循環器・呼吸器

その理由の1つとして、受け入れる医療機関がない。そのため、救急搬送の長時間化に大きく影響していると思われる。患者本人とその家族も遠方への入院に困っている。



これまで市議会産業都市報告では、

- ①市内21の不適切盛土の視察
- ②静岡県を進めるストックヤード視察
- ③県の残土処理に対する考え方(県職員による勉強会)

を行ってきました。



市内外に
違法盛土が
21件
存在!



県営のストックヤード視察の様子

建設残土
90%

建設残土の**9割**が
公共工事で発生

適正に処理
するために...



**ストックヤードで
選別し再利用**



年間約2億円を投入して穴凹アナボコ補修している。今後は主要路線の傷み具合を2年間かけ調査し大規模に補修していく。安全な道路管理を目指していく。

予算委員会の望月芳将の
質疑により明らかに!

